

# 一般社団法人 災害防止研究所

Disaster Prevention Research Institute

2023年8月1日



# まあるい日本

厳しくも美しく恵まれた自然環境のもと、日本人は創造性を発揮して幾多の大災害を乗り越え、発展してきました。

融通無碍に形を変え、人々の考え方の相違を包み込んでいく日本人の精神性は、「和」という「まあるい」円で象徴されます。

今、私たちのDNAに受け継がれている「和」の考え方や生き方が、真に必要とされる時代になっています。

災害防止研究所は、しなやかでレジリエンスに富み、将来に向かってポジティブに進んでいく、逞しい「まあるい日本」の心を養っていくことを目標としています。

災害防止研究所は、あらゆる災害を乗り越え、逞しく生きていく人材を養成することを目標に掲げています。

災害の時代は、私たち一人ひとりの心の持ち方が問われる“心の時代”でもあります。物や技術ばかりではなく、困難に負けない心を養い、心のつながりや心の癒やしを求める時代となっております。

私どもは、心の豊かさを養う活動により、心と身体と頭脳の調和が取れた人材育成に貢献して参ります。



書家。史上最年少で毎日女流展グランプリ受賞し、毎日女流展審査員に就任。書に色彩や絵画の要素を取り入れた「墨アート」の創始者。

世界の聖地を旅し、創作するなかで学んだ書のエッセンスを伝えたいと1998年「心の癒やし研究所」を設立。書を通じて世界の子供たちが交流する「翔夢」の活動、東日本大震災やニュージーランド地震に関わる活動などを通じて、人々が穏やかな心を育み、調和の大切さを感じられることを目指して活動している。

## 団体概要

|           |   |
|-----------|---|
| 名称        | 一般社団法人 災害防止研究所  |
| 本部所在地     | 東京都港区新橋5-26-5（ウッドオフィス株式会社内）   |
| 設立        | 2018年8月1日   |
| 研究所ウェブサイト | <a href="https://saibouken.or.jp">https://saibouken.or.jp</a>           |
| 動画        | <a href="https://youtu.be/q3YkXQqNHil">https://youtu.be/q3YkXQqNHil</a> |

## 【代表理事】

**吉田明生** 元陸上自衛隊第11旅団長、元ゆうちょ銀行社長特命担当顧問



陸上幕僚監部防衛部、広報室で勤務。方面総監部の防衛部長、幕僚副長、幕僚長を歴任、幹部候補生学校、富士学校、幹部学校で教育・研究に携わる。

2012年7月ゆうちょ銀行の社長特命担当顧問に就任。東日本大震災後のBCP見直し、危機管理、組織管理・再編、中期計画策定など幅広くアドバイザーを務める。経営企画部総合戦略室審議役等を経て2020年3月退職。

著書：『まあるい日本～リーダーシップの時代【人を動かす】』（富山房インターナショナル）、『防災用品ファイル』（ワールドフォトプレス）

『まあるい日本～究極の戦い究極の守り 来たるべき災害に備えて』

『しなやかで「まあるい」心のつくり方～災害に備えてレジリエンスを養う』

『Vision21～21世紀の国家安全保障』 『リーダーに成る』

（Amazon電子版／印刷版）

災害に強いニッポンを目指して  
安心・安全を自ら創り出せる社会を

一般社団法人 災害防止研究所  
代表理事 吉田明生

災害は日常であり、大規模震災は、日本の「目の前の、今そこにある危機」となっています。

災害防止研究所は、「自分の安全は自分で確保する」自助の精神を重視して啓発普及し、「**自助と共助と公助を信頼でつなぐ活動**」をしてまいります。



### 【理事】

#### 柏木 白光（書道家、紫鳳書道会主宰）

史上最年少で毎日女流展グランプリ受賞し毎日女流展審査員に就任。書に色彩や絵画の要素を取り入れた「墨アート」の創始者。世界各地を訪問して制作活動を行い、個展を開催している。

東日本大震災やニュージーランド震災での復興支援活動も積極的に主催、参画してきた実績をもつ。災害防止研究所の筆字ロゴを揮毫。



#### 水谷修（水谷修青少年問題研究所代表 <https://mizutaniosamu.net/>）

1956年生。上智大学文学部哲学科卒。横浜市にて長く高校教員として勤務。中・高校生の心の問題、更生、非行防止、薬物汚染の拡大予防のための活動を精力的に行なっている。国際ソロプチミスト財団青少年育成賞、ペスタロッター教育賞他多数受賞。大阪経済大学客員教授他歴任。



#### 浜田昌良（浜田経営労務相談室代表） <https://www.hamada-m.com/profile/>

1957年生。京都大学工学部建築学科卒。2004年以来18年に亘り参議院議員、2022年勇退。この間、参議院法務委員長及び総務委員長、外務大臣政務官、復興副大臣（福島担当を5期）を歴任。福島の実業者をはじめ、中小企業支援においてお役に立つ活動をすることを決意し双葉町に移住。座右の銘「至誠天に通ず」。



#### 芳賀信享（株式会社ビジネスガイド社 代表取締役社長） <http://www.giftshow.co.jp>

ギフト流通の専門誌を発行する出版社として創業。1972年より見本市事業を展開。2021年には設立50年。東京ビッグサイトで開催する東京インターナショナル・ギフト・ショーをはじめとする主催見本市の拡大に努め、今では日本を代表する国際見本市として海外からも注目を浴びる。2018年より「防災グッズ大賞」の審査員長。



#### 名取 禎（ウッドオフィス株式会社代表取締役社長）

設立35年を迎えた老舗の映像制作会社。バラエティからスポーツ、報道まで幅広いジャンルのテレビ番組を制作する他、インターネットTV、CM、企業PVなど様々な映像制作を手がける。



また、文化人やスポーツ選手、俳優のマネジメントも行っている。

### 喜瀬良幸（有限会社かなえ設計 代表取締役）

昭和59年開業、個人・集合住宅から福祉施設、研究施設など様々な建物の設計を行う。学校やコミュニティセンターなど災害時に避難所となる施設の設計の実績も多数あり。防災にかかわる建物の定期的メンテナンスの重要性を課題として、改修提案等のコンサルタント業務も行っている。



### 渡邊宏（井上・渡邊税理士法人）

井上・渡邊税理士法人を2010年に設立し、事業会社の税務を中心に社会福祉法人、NPO法人、宗教法人等の公益法人の税務を多数手がける。現在では、高齢化社会に貢献するため相続、事業継承に関する税務に注力している。



### 吉田卓生（近藤建設株式会社 建設統括部 建設営業グループ マネージャー）

早稲田大学卒。高齢者や子供向けの福祉施設を中心に事業用建築物を通じて、地元埼玉の発展に寄与。昨今、災害に強い建物の要望が強まっており、ハード・ソフト面からのサポートを目指している。



## 【アドバイザー】

大城浩司（株式会社homecamp 代表取締役兼CEO／沖縄出身）

2001年楽天入社。営業本部長兼カテゴリー戦略責任者などを経て、楽天ECでは1日100億円売れる仕組みを展開。2,000万件の商品データ構築などデータを活用した新しい売り方を実現、楽天市場の流通総額X兆円への成長に貢献。2015年homecampを設立。WEBデータを活用したDXを推進する自社システムの提供、戦略立案から現場オペレーションのディレクションを担当。



## 【名誉会員】

伊達泰宗 伊達家伯記念會会長、一般社団法人伊達家鳳文会総裁

### 理事及び事務局一同からのメッセージ

“強くなれ日本！” 更に本気で国民のための防災活動を！

自衛隊出身のリーダーだからこそ伝えられる、  
防災の心構えと自分の身を自分で守る方法！

高齢化社会を迎えた日本。その傾向が顕著な地方市町村。

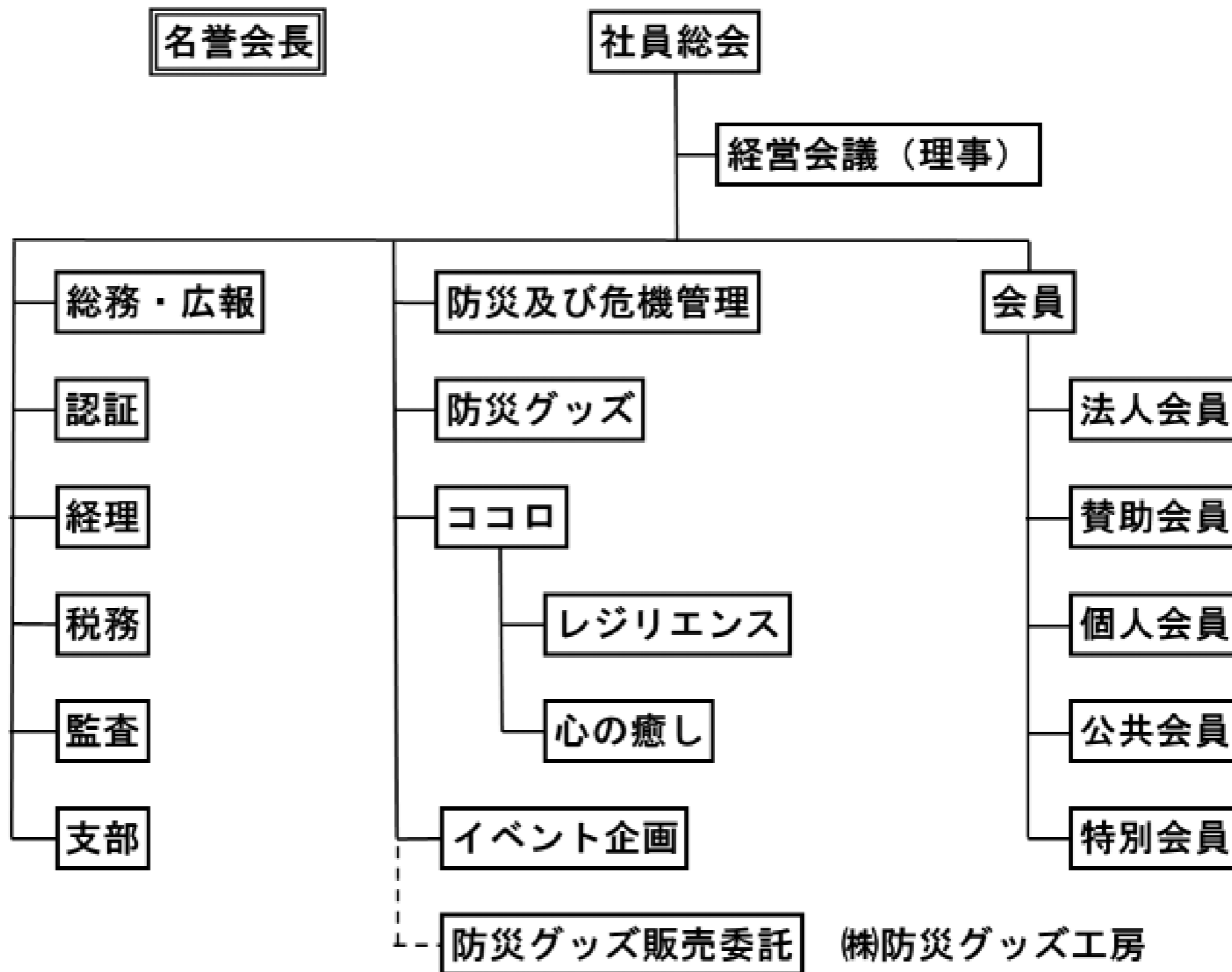
さらに、昨今の災害や際立つ異常気象。

崩壊の予兆を含む地域社会に対し、政府、地方自治体、公共機関だけで災害に対応することは不可能な時代に入り、個人や個々の企業の果たす役割はますます大きく、不可欠なものになっています。

そのとき、個人や企業が指針なしにそのアクションを重ね、官と民がバラバラに対応を図っているのは、効果は極めて限定的になってしまいます。

“災害対処”に正面から向き合い、活動を続けてきた自衛隊。その自衛隊出身だからこそこの視点で、官と民、自助と共助と公助を繋ごうとする吉田代表理事の掲げる理念の下、高い意識を持つ賛同者が集まり、本法人はスタートいたしました。





事業の方向性

災害を乗り越えて**成長・発展**する社会を実現する

危機管理の**考え方**  
**Mind**を普及する

災害の**教訓**や  
**ノウハウ**を普及する



**楽しく使えて**  
**便利な防災グッズ**を  
普及する

**しなやかで**  
**災害に負けない**  
**強いココロ**を養う

誰もが**等しく**、**食を確保し**  
**健康な身体**を維持する

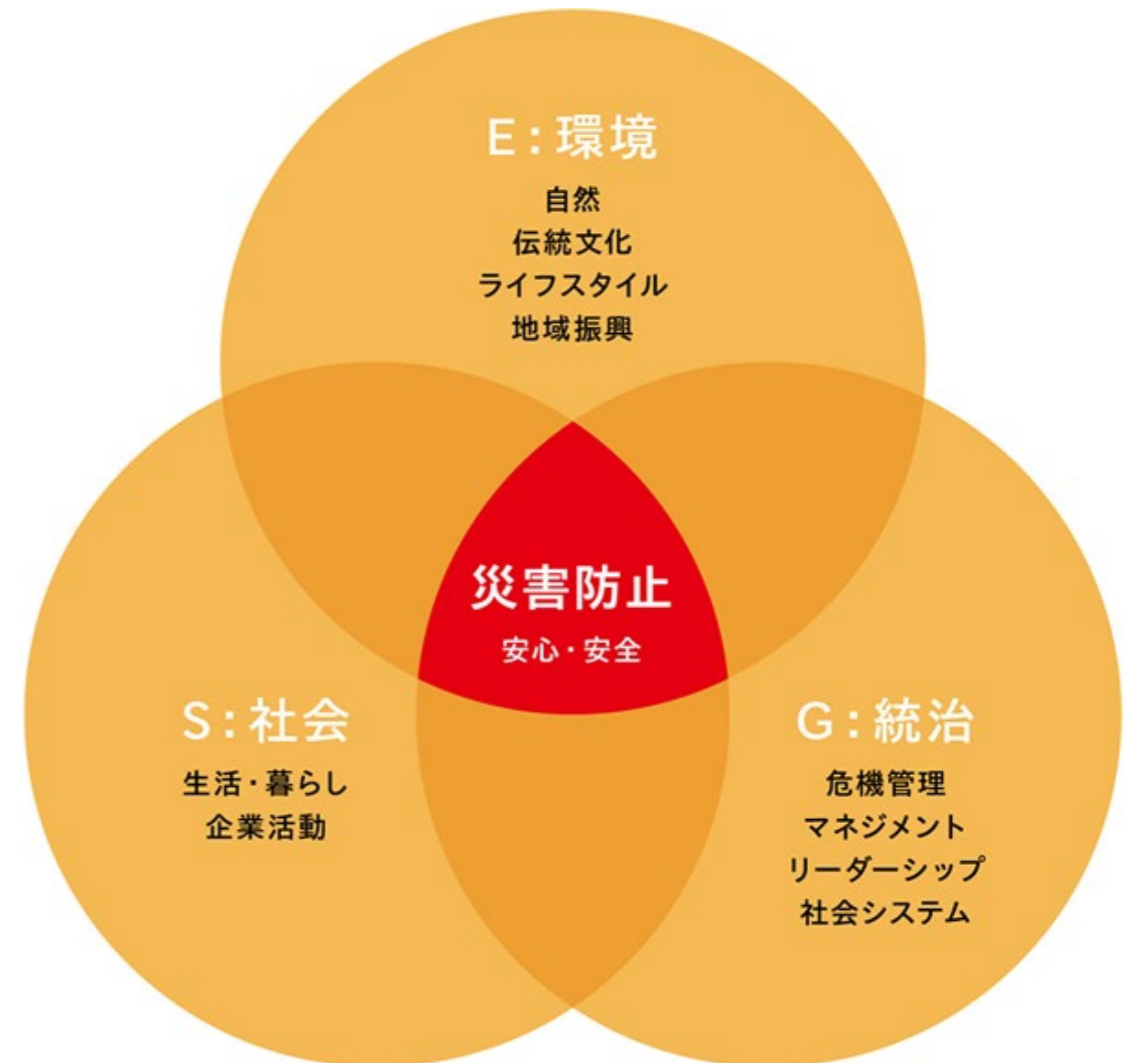
**日本に相応しい、新しいESGの概念を創造する**  
【持続可能な成長目標SDGsの実現】

**E** 自然を活かして発展してきた我が国の歴史や伝統を重視し、**環境を保全しつつ災害を克服**することを目指します。

**S** 思いやりと助け合いのあふれる「**共助**」**社会**による**安全・安心の実現**を目指します。

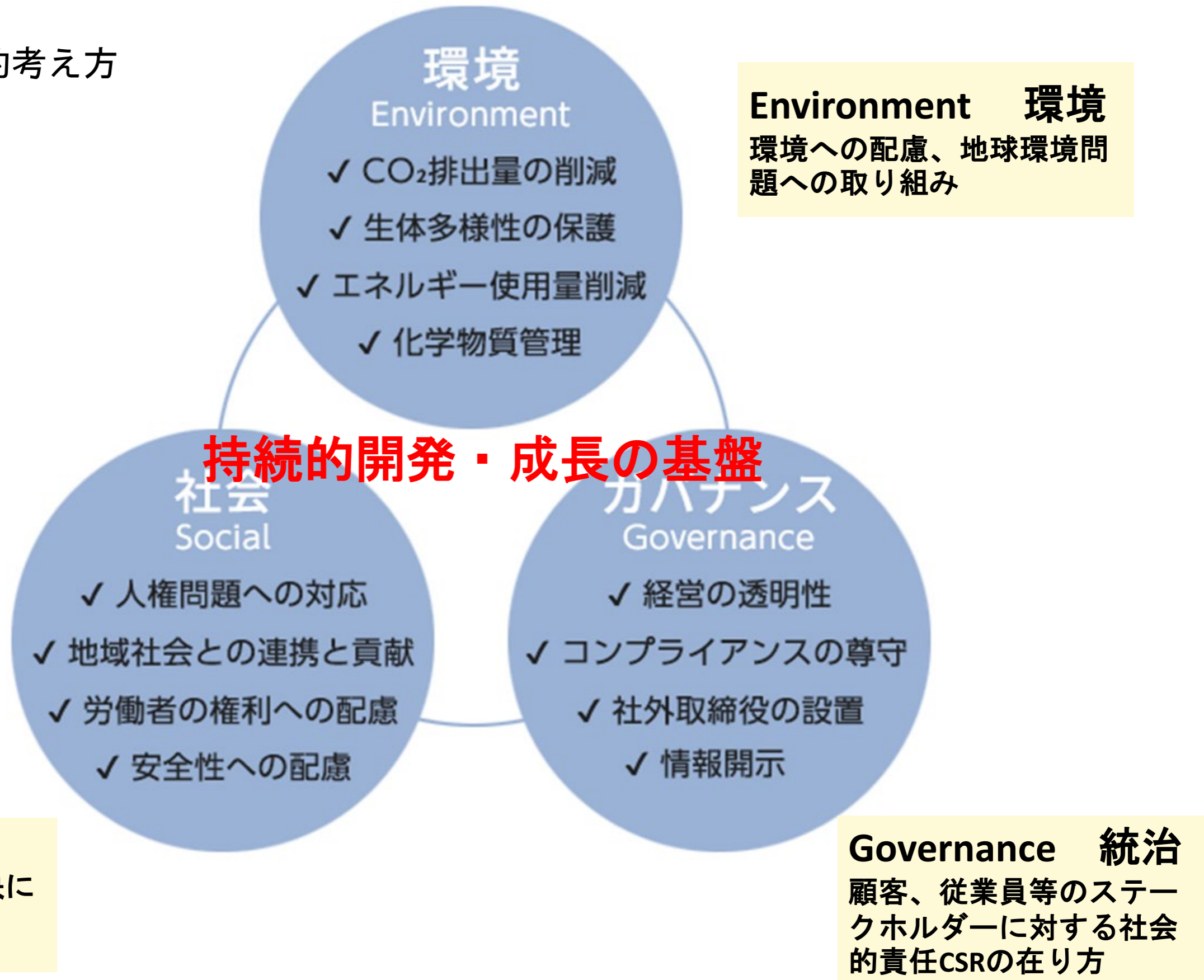
**G** 危機管理能力の向上により、**透明性が高く効率的で、災害に強い組織づくり**を目指します。

**ESG** 「安全・安心」を核心に位置づけ、**環境を保全し、困難に負けない人材、危機に強い組織と災害に強い社会を実現し、日本に相応しい、新しいESGの概念を創造**します。

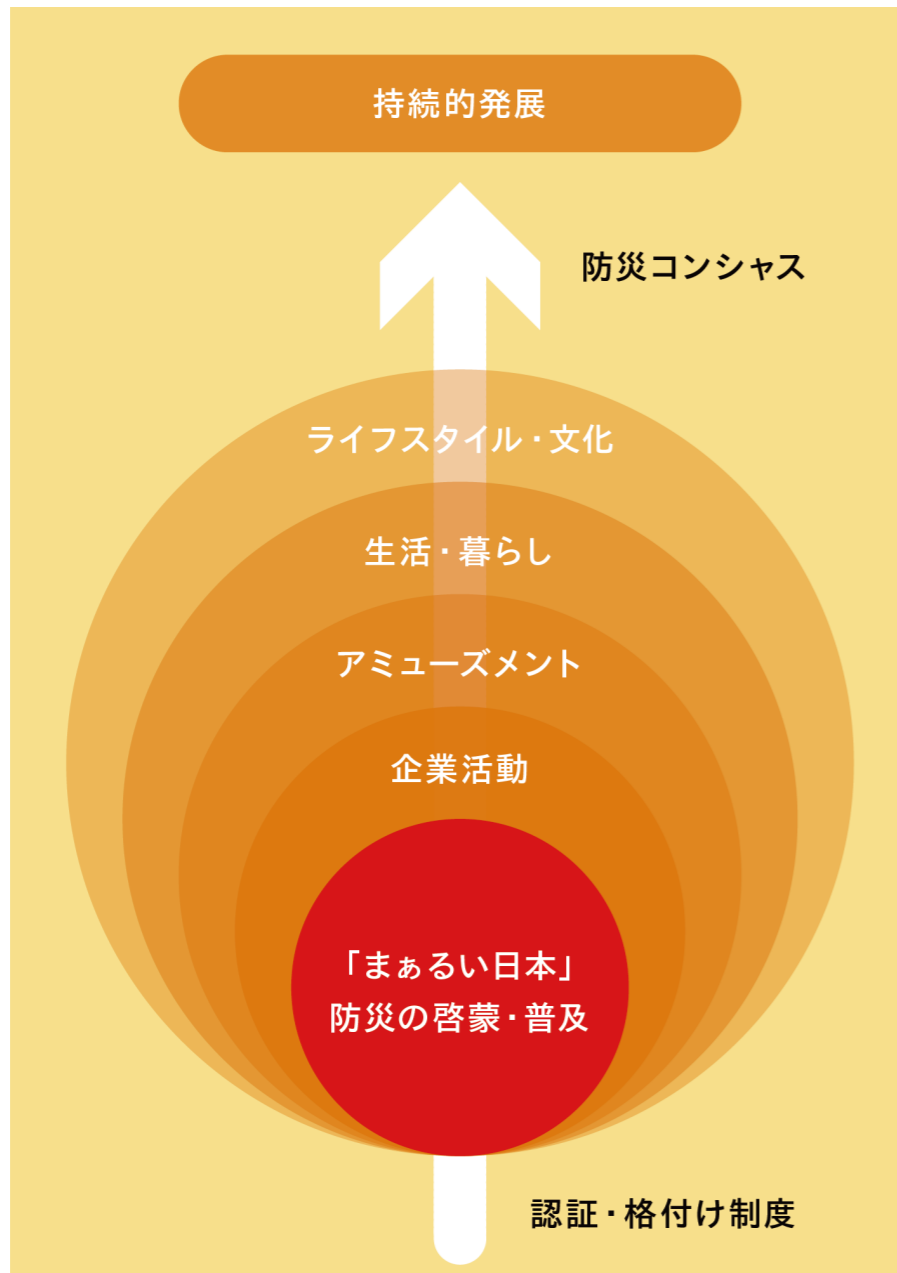


〈参考〉

ESGの一般的考え方



# 「成長と発展」への貢献



防災や危機管理を習慣化し、ライフスタイルとして定着するまで継続します

善きものは文化となって受け継がれる

新しいライフスタイルが生まれる

生活・暮らしに定着する

娯楽性があるって受け入れられる

企業活動と連携しなくては広がらない



## 防災グッズ大賞展

### 1) 基本スタンス

- ① 防災意識普及活動のための基盤作り(公の重視)
- ② 企業との連携

### 2) 第1回防災グッズ大賞展【2019年9月1日 阪急阪神百貨店うめだ本店】



## 2) 第2～4回防災グッズ大賞展【東京ビッグサイト／（株）ビジネスガイド社共催】

- ① 日本最大のギフトショー(B to B)
- ② 審査規則及び審査員審査に基づく表彰制度の確立

**濱口和久** 拓殖大学 地方政治行政研究科 特任教授  
防災教育研究センター長

**増野華菜子** 医師、昭和女子大学管理栄養学科 非常勤講師  
東日本大震災後、仮設住宅における公衆衛生分野における調査に参画  
大学において、防災・栄養学・SDGsに関する取組を行っている。

**水谷修** 水谷修青少年問題研究所代表、大阪経済大学客員教授他

**芳賀信享** 株式会社ビジネスガイド社 代表取締役社長

**柏木白光** 書道家、紫鳳書道会会長、心の癒し研究所代表

**吉田明生** 一般社団法人災害防止研究所代表理事、元陸上自衛隊第11旅団長





## 事業内容

### 認証



安全・安心で、質の高い生活・暮らしの実現に貢献する商品やサービスなどの認証制度を創設します。



防災グッズ大賞展を開催して、優れた防災グッズを表彰し、防災意識を啓発・普及します。

### レジリエンス検定

レジリエンス検定を行い、災害に負けない、強くて、しなやかな心を養う活動を展開します。

## 危機管理及びノウハウの普及等

### 1) 名古屋市防災コンサル

名古屋市区長トップマネジメント研修（2021～2022年度、2023年度予定）

### 2) 消防庁主催 市町村長の防災力強化のための研修指導員（2022年度）

### 3) 地方自治体の防災施策の現況調査（2020～約30自治体）

### 4) 外国人留学生支援 【2018 HAKUSAN HOUSE他】

留学生に対する「グローバルカフェ 外国人留学生のためのオフ会」に運営協力。

災害情報の入手、災害時の対応について啓発・普及

### 5) 講演活動

御殿場市防災リーダーステップアップ研修他

〈講演のお申し込みは下記まで〉

E-mail [info@saibouken.or.jp](mailto:info@saibouken.or.jp)



## まあるい日本プロジェクト

災害防止研究所は、海に関わる活動、人の心の成長に関わる活動、地球環境を保全する活動などを応援します。

### 1) OCEAN SAFTY ファッションショー【2021クイーンズスクウェア横浜】

海のそなえ推進プロジェクト・・・



「水難事故をゼロにする」ことを目標に 知識のそなえ、行動のそなえ、装備のそなえを軸としてさまざまな取り組みを実行





## まあるい日本プロジェクト

### 2) まあるい日本プロジェクト賞

2010年、新九協同株式会社の濱田龍介社長が海岸周辺の清掃活動から始めた「水辺とふれあいプロジェクト」は、10数年の積み重ねを経て、大きな社会的な活動になりつつあります。

第5回防災グッズ大賞表彰式の中で、海辺の清掃活動という、目の前の小さな災害の芽を取り除く活動が、参加する人々の心のつながりを生み、喜びを感じさせ、多くの気づきを与える活動を顕彰させていただきます。

## 水辺とふれあい“昇龍”プロジェクト

～海からの再生～

心のふれあい、人がつながり、地域にひろがり、社会とつながり

自然とのつながり、再生、循環、発見

そして、未来へつながる

水辺のふれあい



# 海の向うに見えるもの

～持続的な成長につながる環境の保全、心の豊かさと成長を育む活動を応援します～

## やがて、海の声が聞こえてくる

太古より人々は海に親しみ  
多くの恵みを受け 時に激しく対峙した  
海は時と場所に応じて表情を変え  
静かに あるいは荒々しく語りかけ さまざまなドラマが生まれた

湧き上がる水蒸気は 海霧となり 水面を這う  
層を重ねた海霧は 巨大な雲となって 天空に昇る  
雲は風を巻き起こし 嵐を呼び 大いなる大地に雨をもたらす  
大地は 生命を吹き込まれ 豊穡をもたらす

流れる水はすべてを洗い清め 海に帰す  
海は入滅する魂を浄化し やがて新たな生命を宿す

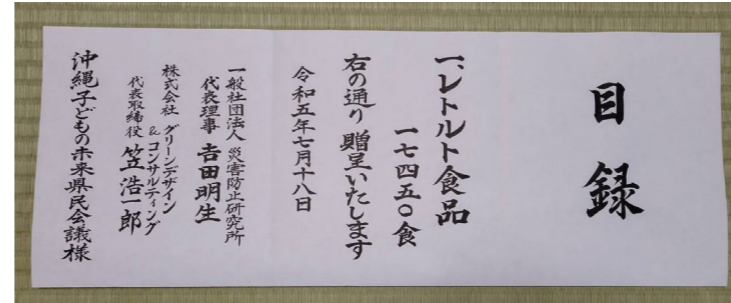
生命と自然の融合 循環 あるいは輪廻

海は 生命の母であり 地球そのもの  
そこには自然の不可思議さがあり 超然とした美しさが漂う  
荒れた海 凧の海 うねりの海 海の色 海の香り 海の音  
さまざま魂の叫びを映し出す



## 防災備蓄の推進基盤作りと備蓄食糧の有効活用

会員企業の株式会社グリーンデザイン&コンサルティング社〔株GDAC〕が提唱する「SDGsに貢献するリユースシステム」と、災害防止研究所が目指している「防災備蓄の推進基盤作りと備蓄食糧の有効活用」の実現に向けて連携し、令和5年7月18日、防災備蓄食品17450食を沖縄県（沖縄子どもの未来県民会議／フードバンク）に寄贈させていただきました。この連携活動は、継続し、広げて参ります。



## 事業内容

## 情報発信

2019~

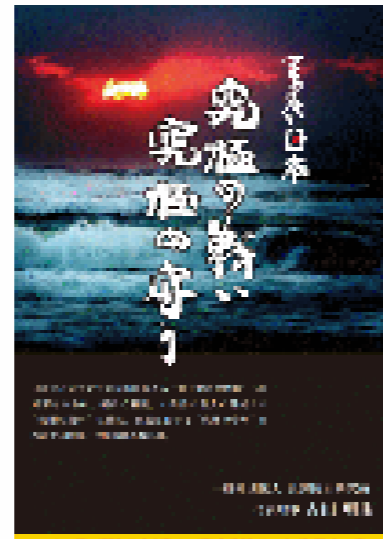
投稿記事 約600件

2020~

書籍出版



〔レジリエンス〕



〔防災〕



〔防災グッズ〕



〔リーダーシップ〕



〔安全保障〕

2021~

SNS開始 Facebook Instagram(3分野)

2022~

Youtube開始

# 富士山の噴火に備えて

～被害の様相を考える 災害対策のケーススタディ～

令和5年9月7日（木） 1330～1500 セッション〈東京ビッグサイト会議棟605〉

## 〈参加予定者〉

司会

一般社団法人災害防止研究所 代表理事

吉田明生

① 御殿場市危機管理補佐監

杉本嘉章

② 日本大学危機管理学部教授（元読売新聞編集委員）

勝股秀通

③ 株式会社セブン-イレブン・ジャパン

リスクマネジメント室エキスパート

中澤剛

④ 株式会社イーコンセプト 代表取締役

松山進

⑤ 日本政策投資銀行 産業調査本部 産業調査室

兼 サステナビリティ企画部

兼 インダストリー本部 企業金融第1部

蛭間芳樹



### 入会の流れ

災害防止研究所への入会の手順は下記の通りです。

①

入会方法の確認

ホームページの「会員制度」から「入会の流れ」をご確認ください。

②

申込書をダウンロード

申込書（エクセルファイル）をダウンロードしてください。

③

入会申し込み

必要事項を記入し、事務局メール\_ (system@saibouken.or.jp) \_  
にご送付ください。

④

審査・承認

事務局で審査し、承認次第通知いたします。

⑤

会費納入

指定口座に年会費を納入していただきます。

ゆうちょ銀行からの振込先：【記号】10110【番号】94469831  
他金融機関からの振込先：【店名】〇一八（読み ゼロイチハチ）  
【店番】018【預金種目】普通預金【口座番号】9446983

⑥

入会

入金確認後、入会が承認された旨をお伝えいたします。

**入会のご案内** 会員の種別、年会費は以下の通りです。

|    |      |     |    |      |
|----|------|-----|----|------|
| 1. | 法人会員 | 年会費 | 1口 | 10万円 |
| 2. | 賛助会員 | 年会費 | 1口 | 3万円  |
| 3. | 個人会員 | 年会費 | 1口 | 1万円  |
| 4. | 公共会員 | 年会費 | なし |      |

## 入会の特典

1. HPへの社名、個人名掲載
2. メールなどによる研究所からの情報提供
3. イベント・勉強会への参加機会の提供
4. イベント情報の優先的な提供
5. HP、イベントなどを通じた、防災に関する商品、企業活動などの紹介
6. 会員、イベント参加企業などの交流活動、情報交換の場の提供
7. 防災に関する社会貢献活動、企業活動などに関する情報提供
8. 防災・危機管理に関するアドバイス、コンサルティング
9. 防災グッズなどの研究開発支援
10. 講師派遣
11. 住友林業（株）商品等の2%割引等

## 災害防止研究所事務局

【講演依頼、入会の表明等については、メールにてお願い致します】

〒105-0004 東京都港区新橋5-26-5 ウッドオフィス(株)内

TEL03-6402-1221 Fax03-6402-1224

E-mail [info@saibouken.or.jp](mailto:info@saibouken.or.jp)

<https://saibouken.or.jp>

【防災グッズ展への出展等のご相談は、こちらへ】

事務局長：名取禎

TEL090-3699-6366

E-mail [t.natori@saibouken.or.jp](mailto:t.natori@saibouken.or.jp)

# The Next Dekade

Green Design & Consulting

# GDAC

## ごあいさつ

防災備蓄・長期保存水・食品の製造・販売・引取ならThe Next Dekadeにお任せください。

超長期保存に耐えうる10年・7年の賞味期限を備えた水・食料・レトルト品・乾パン・アルファ化米・ヒートパック・防災セットを取扱い、防衛省採用で安心・信頼の日本製品なので自治体・企業・学校・病院等での導入に最適です。

帰宅困難者対策や、防災意識の高まりを受けた充実の製品ラインナップ。どうぞお気軽にご相談ください。



# 沖縄県こどもの未来県民会議」への寄付を通じ、 防災用保存食で沖縄県内の子供食堂を応援！

防災備蓄用の長期保存飲食品を扱う株式会社グリーンデザイン&コンサルティング(本社:東京都目黒区、代表取締役:笠浩一郎 以下GDAC)では、沖縄県が取り組む「沖縄子どもの未来県民会議」の協力のもと、沖縄県内にある子ども食堂の支援を目的に、超長期保存ができ、温度など保存管理が容易な「5年及び7年保存レトルト食品」(計17,450食 コーンピラフ わかめご飯 トマトリゾット 五目ごはん4種)を、令和5年7月18日(火)、沖縄県庁にて(一社)災害防止研究所と協業の下、会長である玉城デニー知事に寄付贈呈をさせていただきました。



(左より四人目が弊社代表 笠浩一郎)

## ■今回の趣旨

弊社も参画する災害防止研究所（代表理事 吉田明生 元陸上自衛隊第11旅団長）の活動の一つに『防災備蓄の促進と防災備蓄食品の有効活用』があり、弊社が取り組む保存食入替の際に廃棄せず必要とされる団体に寄付する『Sustainable防災System』と連携し、全国のフードバンクへの食品提供と、子どもたちの未来への貢献に向けた協業活動を行っています。

この活動の中、災害防止研究所より沖縄の子ども食堂が、食品を集める事に苦慮しているとのご相談をいただき、Sustainable防災Systemを推進している弊社としても是非協力させていただくこととしました。

弊社の保存食品は、那覇市、那覇空港を始めとして沖縄県33自治体に採用頂いている実績があり、過去よりご縁のある先としてお役立ちできればと17,450食分を寄贈させて頂きました。



## ■国内外のリユースを可能にする「グリーンデザイン&コンサルティング」の保存食製品の特長

「いつでも、どこでも、だれでも、どんな人種でも、そのまま食べられる」 安心安全な保存食

- ① 加圧加熱殺菌処理＝レトルトパウチ加工による高い安全性⇒お湯や水を使わず調理が不要
- ② 保存期間7年超長期保存製品⇒7年保存製品の賞味期限は製造から8年以上
- ③ 耐温度域－20℃から80℃で屋外倉庫や車載備蓄に最適⇒国内外4社の自動車メーカーの車載セットに採用済
- ④ 米粉のクッキーやパン、ご飯シリーズは食物アレルギー28品目・ハラール対応。また全ての製品仕様は30の多言語に対応
- ⑤ 賞味期限が統一された、1日・3日分セット、車載備蓄セット、アレルギー・ハラール対応セット、火やお湯を使わずにできる温食セットなど、豊富なセットが多数

### 多言語仕様書 / Multilingual Product Specification



# 企業理念は 「Think globally, act locally」

これからも地球規模で考え 地域から行動して行きます。

災害時に命と深いかわりを持つ保存水や保存食を、安心安全をモットーにご提供しています。どのような状況で被災しても、すべての人が安全に美味しく食することができる画期的な防災備蓄用保存食を開発・提供しています。

一般社団法人 防災安全協会による「災害食大賞©2022」のレトルト部門では「最優秀賞」を受賞。

今年も一般社団法人 防災安全協会主催「SDGs・災害食大賞©2023 SDGs取組部門」にて【Sustainable防災System】が「優秀賞」受賞。【超・長期保存食】でSDGsに取り組み、循環型社会現実に寄与致します。

東京都や大阪府をはじめ全国250以上の自治体、成田・羽田空港、新国立競技場等の大型施設、全国の企業、学校、病院、一般家庭に多数採用されています。



## ＜会社概要＞

社名：株式会社グリーンデザイン&コンサルティング

代表：代表取締役 笠 浩一郎

所在地：目黒区青葉台3-12-16 TEL：03-5787-6954

設立：2019年4月 資本金：2000万円

従業員数：15名（パートを含む）

事業内容：防災備蓄用製品の企画及び販売、  
入替の際に防災備蓄品の引取りの手配

ホームページ：<https://www.nextdekade.jp/>

## ＜本件に関するお問い合わせ＞

株式会社グリーンデザイン&コンサルティング

担当：辛島（からしま）

TEL：03-5787-6954

Mail：[info@gdac.tokyo](mailto:info@gdac.tokyo)